

目指す学校像	子どもたちの自信をはぐくみ、保護者・地域の信頼に応える学校 ～笑顔が輝き、あいさつが響き合う仲町小～
--------	--

重点目標	1 ICT環境の下、個別最適な学びと協働的な学びを実現するカリキュラム・マネジメントを推進する 2 安全・安心で健康な学校に向けて、教育環境の整備や生徒指導・教育相談・食育活動を推進する 3 コミュニティ・スクールを通し、学校、家庭、地域の三者が「教育の当事者」として連携・協働を進める 4 教職員一人ひとりが力を発揮し、誰もが居心地よい(Well-Being)な教師・教師集団を構成する
------	---

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価		
年度目標			年度評価				実施日	令和年月日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	【学力向上に関する取組】 (現状) ○前年度の6年生の全国学力・学習状況調査において、国語・算数・理科は全国や市の平均に比べ良好である。また、前年度の3～6年生の市学習状況調査において、国語・算数・理科・社会は市の平均に比べて良好である。 ○学校評価の授業に関する評価において、保護者・児童ともに肯定的な回答が95%に達している。 (課題) ○市学習状況調査では、各学年・各教科ともに上位層が多いが下位層もいて、個人差がある。 ○新しい学びを積極的に取り入れ、変化が激しい時代を生き抜くための力を育成することが必要である。	・学びの自律化の推進 ・個別最適な学びの実現	1 教科担任制を5・6年生で通年実施し、多面的な児童理解を体制化 2 全国学力学習状況調査の振り返りと、学力向上カウンセリングの実施と授業改善の実施 3 指導訪問等を踏まえた授業改善や管理職による定期的な巡回指導 4 休み時間を確保する日課表の設定 1 令和6年度小学校金融経済教育の実践モデル校としての取組を充実 2 学年会、教科等部会の充実による組織的な児童支援を推進 3 エバンジェリストを核として、教職員のICTスキルを高めるとともにスタディサプリやドリルパーク等を活用	1 全国学力・学習状況調査において、国語、算数が、前年度の市平均以上を維持することができたか 2 学校自己評価の児童の授業評価において、肯定的評価を維持できたか 3 学調の振り返り、カウンセリング研修を実施したか 1 学校自己評価の保護者の授業評価において、肯定的評価を維持できたか 2 系統性を持った校内研修を計画し、各教科の研究授業を実施できたか 3 タブレット活用研修を実施したか 4 市学力状況調査において、児童に肯定的な変容が見られたか					
2	【安心・安全に関する取組】 (現状) ○いじめは毎年起きていて、担任や組織で対応しているが、見守りを継続している事案もある。 ○長期欠席者が数名いて、関係機関と連携したり担任や学年、学校全体で対応したりしている。 ○心と生活のアンケート等を実施し、子どもの悩みの把握に努めている。 ○学校評価での保護者の「あいさつ」についての否定的意見が15%あり、課題と捉えている。 ○保護者等との教育相談を積極的効果的に行う。 ○いじめの認知を積極的に行い、早期対応する。 ○施設等の不備を早期に発見、早期に対応する。	・家庭や地域、関係機関と連携した組織的な対応 ・安全で安心できる教育環境の整備	1 心と生活のアンケート等(毎学期)の結果を受けて、迅速な面談と記録の実施 2 日常の事件・事故の報告・連絡・相談・確認と、緊急時の組織的な対応 3 道徳の時間を中心とした考える道徳教育の実施と公開 4 SC、SSW、市教委、支援課、児相、相談室、警察等との連携 1 交通事故や食物アレルギー事故の未然防止のため、日々の生活指導と計画的な安全教育の実施 2 事故発生時に適切な対応を行うための計画的な研修の実施 3 あいさつ運動の定期的な実施や育成会と連携した下校指導の実施	1 心と生活のアンケート設問3「生きていてもしかたがないと思う」に該当する児童に、即日面談を実施したか 2 学校自己評価の教員の「いじめ対応」についての評価で、肯定的評価を維持できたか 3 授業参観・学校公開等で年に1回以上、全学級が道徳を公開したか 1 教員・児童・保護者の学校安全の評価で、肯定的評価を維持できたか 2 安全に関わる研修や訓練を全て実施することができたか 3 あいさつ運動の定期的を通して、保護者の「あいさつ」に関する肯定的回答が向上したか					
3	【地域とともにある学校づくりに関する取組】 (現状) ○学校運営協議会とSSNが連携・協働し、地域とともにある学校づくりを推し進めている。 ○チャレンジスクールやPTA、育成会等との連携により、保護者や地域の教育力を生かした教育活動を展開している。 (課題) ○学校教育の充実や地域との連携の強化のため、施設設備の有効活用を図る。 ○学校運営協議会とSSNとの連携により、児童の健全育成に関わる活動を検討、実施する。 ○地域の教育力を生かした教育活動を実施する。	・学校運営協議会とSSNとの連携・協働 ・地域や関係諸機関と連携した教育活動の実施	1 学校・家庭・地域が連携・協働する植栽活動等の実施 2 学校運営協議会委員による行事参観を通した「地域とともにある学校づくり」の推進 3 SSN団体や体育施設開放団体との連携による開かれた学校づくりの推進 1 学校・家庭・地域の方々との給食会食の実施 2 地域のヒト、モノ、コトを活用した教育活動の実施 3 保・幼連携・小・中一貫を検討する機会の設置と協議を実施する。 4 迅速な情報発信のために、学校安心メールの活用と、配布文書の電子化	1 学校自己評価の地域との連携についての評価で、保護者の肯定的評価が向上したか 2 学校・家庭・地域が連携した、植栽活動を実施できたか 3 地域主催行事に参加できたか 1 給食試食会を実施できたか 2 地域のヒト、モノ、コトを活用した教育活動の実施できたか 3 学校自己評価の「地域との連携」についての評価で、教員の肯定的評価が向上したか 4 配布文書を電子化し、適時適切にホームページで閲覧できるようにしたか					
4	【教職員の資質向上に関する取組】 (現状) ○健全で持続可能な学校運営のために、業務に優先順位を付け、全校を挙げて働き方改革を推進する必要がある。 ○前年度はSA6名、大学生等のAT3名、日本語指導員2名等により、児童一人ひとりに寄り添ったきめ細かな教育活動を図っていた。 (課題) ○研修内容や学校のきまり等を共有化・日常化し、指導の一貫性と指導力向上を図る。 ○初任者、臨任者等の経験が少ない教員の指導力を育成する。 ○やりがいを持った働き方推進のため、学校全体で業務改善と業務の標準化を進める。	・校内研修を核とした研修の実施 ・教職員のやりがいを高める働き方改革の推進	1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る校内研究授業の実施 2 自己評価シートとキャリア振り返りシートを活用した当初面談における研修奨励の実施 3 管理職による毎日の教室巡回と、年1回以上の授業観察の実施 1 教育環境と教育活動の見直しと改善 2 教職員自身の出退勤時刻の把握と、管理職の指導助言の実施 3 学校組織全体での協力体制の下での計画的な年休取得と教職員の自己研鑽 4 各学年主任・副主任体制の実施	1 学校自己評価の教員の「授業評価」で、肯定的評価を維持できたか 2 管理職による毎日の教室巡回と、年1回以上の授業観察を実施したか 3 当初面談において、研修奨励を実施したか 1 時間外在校等時間が月平均45時間以上の教職員が、1学期から2学期へ半数に減少したか 2 人事異動調書の職場環境についての否定的回答数を維持できたか 3 人事異動調書の満足度についての肯定的回答率が向上したか					